

# 情報検索演習

## 第8回

鶴見大学 非常勤講師  
江草由佳

(国立教育政策研究所 総括研究官)

yuka@nier.go.jp

# 本日のお品書き

- お知らせ
- 図書情報の探し方(2)
- 第9回演習課題:図書情報の探し方(2)
  - 図書情報の検索結果画面イメージ

# 図書情報をさがしたい。例えば...(再)

- 鶴見大学図書館に所蔵されているかどうか
- あるタイトルの本がある(存在する)かどうか
- あるタイトルの本が現在購入できるか、値段は？
- 書誌事項はわかっているが、所蔵館を調べたい
- ある文章に関連のある本が知りたい
- ある本が神保町の古書店にあるかどうか知りたい
- ある本のレビューが知りたい
- 本の全文データを直接読みたい
- ある本の生まれた背景や与えた影響、関連する人物や事柄などを調べたい

# 図書情報の探し方

- 蔵書目録:OPAC \*
- 国立国会図書館\*
  - NDL Search
  - NDL-OPAC
- 国立情報学研究所\*
  - CiNii Books
  - Webcat Plus
    - (Book Page 本の年鑑)
- カーリル\*
- Book.or.jp \*
  - (日本書籍総目録)
- BOOKPLUS \*
  - (Book Page 本の年鑑)
- 新書マップ
- BOOK TOWNじんぼう
- amazon.com
- 青空文庫
- 近代デジタルライブラリー

# 第9回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割印刷して提出しなさい。
  - (1)から(6)まであります
  - 課題名に: 第\_\_回演習課題と入れなさい
  - ✕切: 来週演習開始時
- 「情報検索演習」、「第\_\_回演習課題・図書情報の検索(2)」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出日」を忘れずに記入すること

# 参考：9ページをまとめて一枚として印刷する方法（再） ※

**最後**

印刷

部数: 1

1 プリンターのプロパティ

2 9 in 1

3 OK

6 OK

プリンターのプロパティ

※鶴見大学 402教室,403教室のパソコンでのやり方です。

# 新書マップ

- <http://shinshomap.info/>
- 新書だけを収録
- 連想検索
  - Webcat Plusと同様に、文章で検索できる
  - 関連ワードマップが表示される

# 新書マップ演習

## 連想検索を使う

1. www.asahi.comで適当な記事をコピー
2. 連想検索の入力フォームにペースト
3. 「検索」ボタンをクリック
4. 興味のあるワードをポインタでさしてみる
  - 例: 次のスライド → 画面イメージをPowerPointへ
5. 興味あるワードをクリックし、一覧リストをみる
6. 興味ある本をクリックし、詳細表示を見る
7. 他の記事でもやってみよう(時間があれば)



# 新書マップ演習画面例

The screenshot displays the 'Shinsho Map' (新書マップ) interface. The main area is a circular map with various themes represented by yellow dots and labels. The themes include: 世界 (World), 日本 (Japan), 歴史 (History), 人 (People), 東京 (Tokyo), 時代 (Era), 家 (Home), 学 (Study), 都市 (City), 謎 (Mystery), 海 (Sea), and 世界 (World) again at the top. The central themes are: 歴史の道を歩く (Walking the path of history), 南極 (Antarctica), サッカー (Soccer), 東京散策 (Tokyo strolling), 博物館と博物学 (Museum and natural history), 電気 (Electricity), 日本の建築 (Japanese architecture), ペルリン (Berlin), 動物園・水族館 (Zoo and aquarium), and 海洋生物 (Marine life).

The sidebar on the left contains the following elements:

- Logo: テーマで探す新書ガイド 新書マップ BOOK MAP
- Search bar: キーワードか文章を入力して下さい. Example text: 大阪市港区の海遊館で、イワトビペンギン2羽が階段をピョンピョンと登って高
- Buttons: 検索 (Search), クリア (Clear)
- Navigation: 書棚で見るテーマ一覧 >> (View theme list on bookshelf), ヘルプ >> (Help), クレジット >> (Credits)
- Buttons: 関連リスト (Related list), 履歴/MY書棚 (History/My bookshelf)
- Dropdowns: 関連テーマ (Related theme), 関連キーワード (Related keyword)
- List of themes with checkboxes:
  - 歴史の道を歩く
  - 南極
  - サッカー
  - 東京散策
  - 海洋生物
  - 動物園・水族館
  - ペルリン
  - 日本の建築
  - 電気
  - 博物館と博物学
- Checkbox:  チェックをつけたテーマをもとに連想検索できます。 (You can search by association based on the checked theme.)
- Button: 再検索 (Search again)
- Font size selector: 12pt, 14pt, 16pt, 18pt

# BOOK TOWNじんぼう

## 連想検索を使う

- <http://jimbou.info/>
  - 東京の神保町の古書店の古書などが検索できる
  - 連想検索
- 演習
  1. “古書データベースで検索”をクリック
  2. 「天皇」で検索
  3. 関連ワード:(例えば)「皇室」、「系譜」をチェック
  4. “再検索”
  5. 検索結果一覧を見る → 画面イメージをPowerPointへ
  6. 興味のある文献の詳細をみる

# 青空文庫

- <http://www.aozora.gr.jp/>
- 著作権の切れた著作物をボランティアが入力して公開しているもの
- 作家名と作品名のよみ仮名の五十音順のリンク
- 作品の全文を読めるのが特徴
- 全文の検索も可能(ただし、外部のサーチエンジンのサイト限定検索を利用)
- 演習: 青空文庫で適当な作者の作品まで辿ってみよう
  - 実際に作品のページまでいく
  - →画面イメージをPowerPointへ

# 近代デジタルライブラリー

- <http://kindai.ndl.go.jp/>
- 国立国会図書館が提供
- 明治期から第二次世界大戦以前の著作権がクリアになった本を公開
- 本文情報は画像のみで、テキスト形式ではない
- 演習：
  1. “詳細検索”
  2. タイトル:「羅生門」(他のものでもよい)
  3. “詳細検索”
  4. 検索結果一覧を見る
  5. どれか一件の詳細を見る
  6. “次”などをクリックして先のページを見る
  7. →画面イメージをPowerPointへ

# Amazon.com

- アメリカ版 : <http://www.amazon.com/>
- 日本版 : <http://www.amazon.co.jp/>
- オンライン書店
- レビューがある
- お勧めの本
  - その本を買った人は他にこんな本も買っています
- 一部の本(ベストセラーなど)は本の一部を閲覧可能
  - 「なか見!検索」
- 演習: 適当な本を検索してレビューやお勧めをみてみよう
  - 本の詳細画面(この本を買った人は..が見えるように)
  - → 画面イメージをPowerPointへ

# 総合問題(演習課題)

- 問題: 内田儀久(うちだ よしひさ)の書いた『電子図書館』を所蔵している都内の大学図書館を知りたい。
  - どの検索サイトを使用したか
    - サイト名とURL(例:NDL-OPAC <http://.....>)
  - どのような検索戦略で、どうやって検索したか
    - まず、概要を知るために……
  - 検索している画面→PowerPointへ貼り付け
  - 検索結果の画面→PowerPointへ貼り付け
  - 回答